

令和7年度

群馬県図書館協会会報

No. 20 (令8.3.31)

令和7年度の群馬県図書館協会の活動を御報告いたします。

- 1 第1回代議員会報告 P1
- 2 第21回群馬県図書館大会報告 P2
- 3 研修報告
 - (1) 図書館(室)職員初級研修 P3
 - (2) 図書館(室)職員実務研修 P4
 - (3) 図書館(室)職員専門研修 P5
- 4 各加盟団体活動報告
 - (1) 群馬県公共図書館協議会 P6~7
 - (2) 群馬県大学図書館協議会 P8~11
 - (3) 群馬県高等学校教育研究会図書館部会 P12
 - (4) 群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会 P13

発行：群馬県図書館協会（事務局：群馬県立図書館内）
加盟団体 群馬県公共図書館協議会
群馬県大学図書館協議会
群馬県高等学校教育研究会図書館部会
群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会
群馬県立図書館

第1回代議員会報告

令和7年6月12日（木）に、県立図書館3階研修室において、各団体の代議員出席のもと、群馬県図書館協会の第1回代議員会が開催された。

はじめに、吉澤会長（群馬県立図書館長）の挨拶があり、引き続き議事に入った。

【議題】

1 群馬県図書館協会関係

- (1) 令和6年度群馬県図書館協会事業報告について
- (2) 令和6年度群馬県図書館協会決算について
- (3) 令和6年度群馬県図書館協会会計監査報告について
- (4) 令和7年度群馬県図書館協会事業計画（案）について
- (5) 令和7年度群馬県図書館協会予算（案）について
- (6) 第21回群馬県図書館大会について

2 群馬県読書推進運動協議会関係

- (1) 令和6年度群馬県読書推進運動協議会事業報告について
- (2) 令和6年度群馬県読書推進運動協議会決算報告について
- (3) 令和6年度会計監査報告について
- (4) 令和7年度群馬県読書推進運動協議会事業計画（案）について
- (5) 令和7年度群馬県読書推進運動協議会予算（案）について

3 監事の指名について

高崎経済大学図書館 工藤 京子 氏

4 連絡事項

群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会の今後について

事務局から上記議題が提出され、承認された。

第 21 回群馬県図書館大会 報告

1 開催日及び大会動画の配信期間

- (1) 開催日時 令和 7 年 10 月 30 日 (木) 11:00~16:30
- (2) 開催形式 対面・一部動画配信
- (3) 動画配信期間 令和 7 年 12 月 12 日 (火) ~令和 7 年 12 月 24 日 (木)

2 参加者数 187 名 (内訳: 対面参加 67 名、来賓及び大会運営スタッフ 33 名、動画視聴参加 87 名)

3 動画視聴回数 311 回 (報告 144 回、講演 167 回)

4 大会概要

《式典・表彰式》

- 主催者挨拶 群馬県図書館協会長 吉澤 隆雄 氏
群馬県立図書館 特別館長 岩瀬 春男 氏
- 来賓挨拶 群馬県教育委員会教育長 平田 郁美 氏
- 表彰式 優良図書館群馬県教育委員会表彰
群馬県読み聞かせボランティア顕彰
第 58 回全国優良読書グループ表彰 (伝達)
全国公共図書館協議会表彰 (伝達)

《集合研修》

- 報告
「蔵書再構築～マンガ文化拠点の挑戦～」
講 師：坂庭 健司 氏 (太田市立新田図書館 館長)
- 講演
「図書館におけるマンガの可能性」
講 師：みさき 絵美 氏 (マンガ司書)
- トークセッション
アドバイザー：坂庭 健司 氏 & みさき 絵美 氏



図書館（室）職員初級研修「はじめの一步」

【開催日時】令和7年4月24日（木）9：30～15：30

【会場】県立図書館 3階ホール

【参加者】47名

【内容】

- | | |
|------------------|---|
| 研修①「図書館の機能と役割」 | 講師：高崎健康福祉大学 非常勤講師 秋山美和子 氏 |
| 研修②「図書館員の業務と心構え」 | 講師：高崎健康福祉大学 非常勤講師 秋山美和子 氏 |
| 研修③「資料収集と整理」 | 講師：日本図書館協会認定司書 星野 盾 氏 |
| 研修④「情報サービス入門」 | 講師：日本図書館協会認定司書 星野 盾 氏 |
| 研修⑤「窓口サービス」 | 講師：藤岡市立図書館 主事 渡邊 拓毅 氏 |
| 研修⑥「図書館ネットワーク」 | 講師：群馬県立図書館 調査相談係補佐 俣田さやか 氏
群馬県立図書館 企画・地域協力係長 市村晃一郎 氏 |



図書館（室）に異動・採用になった職員（正規・非常勤を問わず）を対象に、図書館の基本的な業務に関する研修を行った。今年度は集合研修のみで実施した。

機能や具体的な業務内容、必要な専門用語、少し踏み込んだ理論的な内容、窓口サービスのあり方、図書館職員として働く上での心構えを取得した。

例年、図書館業務に精通した講師による講義をおこなっている。今年度は公共図書館の職員にも講義をお願いした。軽快なトークで図書館現場の課題等について語る講師の言葉は、経験の浅い参加者の心を捉え、図書館職員として働く上で必要とされることを学ぶ機会となった。

質疑応答では、各講師に数件の質疑が寄せられるほど熱心な研修となった。

研修の最後には、数名のグループで意見交換をおこなった。どのグループも活発な意見交換がなされた。研修や意見交換を通じて、横の繋がりが広がることもこの研修の重要な役割となっている。

〈研修参加者の意見〉

- ・初級研修とは思えないほど充実した内容の講義で大変勉強になった。
- ・図書館が社会教育機関であることの意味をわかりやすく説明していただき、図書館の在り方、そこで働く職員の在り方の理解が深まった。
- ・レファンスサービスやレフェラルサービスの具体的な流れがわかった。学校図書館や学校司書の方をもっと効果的に活用できるのではないかと思った。
- ・窓口サービスの話が、図書館で働くうえでの心構えとなった。

図書館（室）職員実務研修

【開催日時】 令和8年1月29日（木） A班10:10～14:30 B班12:50～16:25

【会場】 県立図書館 3階研修室及びホール

【参加者】 40名

【内容】 (1) 児童書修理の基礎 (2) 児童書の除籍

【講師】 (1) (株) 図書館流通センター、那須塩原市塩原図書館 仁平純子氏、室井美貴氏

(2) 都留文科大学 非常勤講師 吉井潤氏

【概要】

(1) 児童書修理の基本

テキストに沿って進行。実習は①ページ破れの修理、②無線綴じ資料のページ外れの修理、③糸綴じ資料のページ外れの修理を実施。実習の前に講師が実演し、その後各自で実習を行った。実演の際は、全体の流れと共に、個別の注意点についても交えながら説明を行った。実習中は講師が席を回り、習熟度に合わせて個別に質問を受けたり、参加者が持参した資料の破損具合に合わせてアドバイスを行ったりしながら実施した。

A班では時間が押したため、水濡れの実演ができなかった。



(2) 児童書の除籍

テキストに沿って進行。今回は公共図書館の児童書の除籍に絞って説明。グループワークの後に考え方の解説をはさみ、個人ワークを実施。除籍に正解はないうえに、個人で判断しなければならない状況が増加している中、近隣館や近隣自治体に聞いて調整するのが有効であると説明。

後半は除籍に対する考え方や課題についてテキストに沿って説明。



令和7年度第2回大学図書館研究会・第1回群馬県図書館協会専門研修

日 時:令和8年3月4日(水)14時30分～16時00分

場 所:群馬大学(荒牧キャンパス)情報学部10号館 121講義室

参加者:36名(大学図書館:11名、学校図書館:6名、公共図書館:7名、一般:12名)

内 容:「本を届ける仕事:本屋と図書館～読者へつなぐ、地域をつなぐ～」

講 師:本屋水紋 店長 小澤亮太氏

【概要】

2025年7月に前橋市中央通り商店街に「本屋水紋」を開店した小澤亮太氏による講演会「本を届ける仕事:本屋と図書館～読者へつなぐ、地域をつなぐ～」を開催した。出版取次会社、地域おこし協力隊、本屋開業といった経歴から、出版業界や書店を取り巻く現状について紹介した。また、小中高生の不読者や平均読書量のデータも提示しながら、過去30年で「本を全く読まない」生徒数は減少しているとし、「読みたくても本が読めない人には本をよむ環境を提供する」取り組みを紹介した。図書館員と重なる視点や取り組みを通じて、本屋と図書館が果たす役割や可能性について考える機会となった。



【講師:小澤亮太氏】



【会場:群馬大学】

【参加者の意見等】

- 学校図書館に勤務している。今年度後半は図書室に来る生徒も激減し、他校も同じような現象がある。4月からの読書を促す活動の参考にしたい。今日は大変参考になった。
- 本屋の閉店が増えている昨今、取次業から1年足らずで開業した行動力に驚いた。町の活性化を含め、今後も頑張っていたきたい。
- 中心街に少しずつ活気が出てきて嬉しい。今度ぜひお店に寄らせていただきたい。
- 図書館にしながら書店や取次のことをあまり知らなかったが、今回内情を知ることができて大変興味深かった。
- 流通や読書量に関するデータ、選書のお話など図書館のあり方としての学びも多く、大変興味深く拝聴した。
- 水紋さんにも数回行きましたが、独立系書店によくある入りづらさが無く、今回お話を聞いて、選書やイベントなど様々な工夫をされているのだと感じた。

群馬県公共図書館協議会 活動報告

1 幹事会・理事会の開催

令和7年5月23日（金）に幹事会、6月5日（木）に理事会を開催し、以下の協議事項について御審議・御確認をいただき、承認された。

また、書面にて臨時理事会を開催し、以下の協議事項について御審議いただき、承認された。

【理事会協議事項】

- (1) 令和6年度事業報告について
- (2) 令和6年度決算報告について
- (3) 令和6年度会計監査報告について
- (4) 令和7年度事業計画（案）について
- (5) 令和7年度予算（案）について
- (6) 令和7年度役員等について
- (7) 監事の委嘱について

【臨時理事会協議事項】

- (1) 令和8，9年度の関東地区公共図書館協議会幹事（市町村幹事）の選出について

2 事業報告

(1) 図書館（室）職員初級研修の開催

群馬県図書館協会主催事業について、企画・運営を行った。詳細報告は、3ページのとおり。

(2) 図書館長研修会の開催

図書館長研修について、企画・運営を行った。詳細報告は、7ページのとおり。

(3) 研究部会の開催

電子書籍共同購入研究部会について、令和7年10月9日（木）に開催した。

図書館長研修（群馬県公共図書館協議会主催事業）

【開催日時】令和7年6月5日（木） 9：40～12：00

【会場】県立図書館 3階ホール

【参加者】21名

【内容】（1）講演「それぞれの図書館長論～私の目指す図書館経営～」

（2）懇談会

【講師】（1）高崎健康福祉大学 非常勤講師 秋山美和子氏

【概要】

（1）講演

図書館長の役割や、館長としての図書館経営を考える重要性の理解に重点を置いた講義内容。

元高崎市職員であり、高崎市立群馬図書館長、高崎市立中央図書館次長、高崎市市民活動センター次長を務めた中で実践した経験を伝えることで、館長としてのリーダーシップや学び続ける姿勢、人とのつながりを通じて図書館の外の人や関係機関との連携の重要性を伝えた。

（2）懇談会

事前提出された質問を中心に情報交換を行った。

①福島の新聞の配架について

5館配架中（まとめて配送してもらったものを配架している館もある）

②雑誌スポンサー制度について

5館導入済み。いずれも広報誌やHP、個別営業によりスポンサーを集めているが、集まりが悪い。

③電子書籍提供サービスについて

5館導入済み。読み放題パックや学校連携を行っている館もあり。補助金を活用している館もあり、予算について課題がある館もある。

※特別館長から「貸出カード範囲一覧表」を配布・説明。

④利用者等増加の工夫について

秋山講師より、「(図書館で待つのではなく、) 必要としている人に届ける」を意識してみてもどうか。



群馬県大学図書館協議会 令和7年度活動報告

I. 事業

1. 「会員名簿 2025」の配付

会員名簿を改訂し配付した。※加盟館 18 機関（15 大学、2 短大、1 高専）会員数 121 名。

2. 「相互協力便覧 2025」の配付

本協議会のホームページに掲載した。

3. 会報の発行

第 54 号を 9 月 30 日に発行し、協議会 HP に掲載した。第 55 号は 3 月末発行予定。

4. 第 21 回群馬県図書館大会の共催

10 月 30 日に群馬県立図書館にて、「マンガへのアプローチ」をテーマに坂庭健司氏（太田市立新田図書館 館長）の報告「蔵書再構築～マンガ文化拠点の挑戦～」、みさき絵美氏（マンガ司書）の講演「図書館におけるマンガの可能性」を実施した。

5. 大学図書館研究会の開催について

第 1 回は 9 月 12 日に群馬大学にてオープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）との共催による「JPCOAR 地域ワークショップ@群馬」を実施した。JPCOAR から 6 名の講師を迎え、論文の即時 OA 義務化に関するレクチャーや、JAIRO Cloud 操作デモ、グループワーク等を行った。県内外大学図書館から実務担当者 17 名が参加したほか、当日資料は協議会加盟館にメーリングリストを通じて共有した。

第 2 回は 3 月 4 日に群馬大学にて本屋水紋店長の小澤亮太氏を講師に迎え「本を届ける仕事：本屋と図書館～読者へつなぐ、地域をつなぐ～」をテーマに講演を行い、36 名の参加があった。

6. 共同企画 群馬県大学生ビブリオバトルの開催

11 月 2 日に群馬県立図書館にて「全国大学ビブリオバトル 2025 関東 D ブロック予選・決戦」を高崎商科大学との共催として実施した。決戦大会は、高崎商科大学、群馬大学で行った予選を勝ち抜いた学生及び 2 日当日の予選会を勝ち抜いた計 5 名からチャンプ本を獲得した 1 名が選出され、11 月 23 日に全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭 2025（第 16 回全国大学ビブリオバトル）へ出場した。

全国大学ビブリオバトル 2025 大会記録 <https://zenkoku.bibliobattle.jp/records2025>

7. 創立 30 周年記念事業

発行遅延しているが、3 月に原稿依頼し、次年度発行を予定している。

II. 会議

1. 「会報」編集委員会

オンライン（Teams）にて、第 54 号、第 55 号の編集発行について、記事内容等の検討を行った。また、表紙のデザインについては、前年度に引き続き加盟館名簿順に紹介の写真をもとに委員会で作成した（第 54 号：高崎経済大学図書館、第 55 号：高崎健康福祉大学図書館）。

2. 幹事館会議

開催なし。

3. 運営委員会

令和7年度第1回運営委員会を7月2日（水）にオンライン（Zoom）にて開催した。本協議会の令和7年度実施事業について検討した。

4. 総会

令和7年度定例総会を3月4日にオンライン（Teams）にて開催した。総会終了後に、第2回大学図書館研究会を開催した。

5. 群馬県図書館協会運営委員会

運営委員として、群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館（山内）、高崎健康福祉大学図書館分館（清水）が参加し、第21回群馬県図書館大会企画について協議した。

令和7年度第1回大学図書館研究会

日 時:令和7年9月12日(金)10時00分～17時00分

場 所:群馬大学(荒牧キャンパス)情報学部10号館 122 講義室

参加者:17名

内 容:JPCOAR 地域ワークショップ@群馬

講 師:野中雄司氏(JPCOAR 運営委員・イベント運営作業部会/京都大学)、安達修介氏(イベント運営作業部会/東京大学)、南雲修司氏(JAIRO Cloud 作業部会/東京学芸大学)、藤原幸生氏(JAIRO Cloud 作業部会/新潟大学)、大石柁洋氏(イベント運営作業部会/筑波大学)、嶋田晋氏(イベント運営作業部会/茨城大学)、田中博文氏(群馬大学)

【概要】

「JPCOAR 地域ワークショップ@群馬」は、リポジトリ業務担当者の知識等の習得に加え、相互扶助が可能なコミュニティ醸成を目的に、当協議会とオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の共同企画として実施した。JPCOAR から6名の講師を迎え、論文の即時OA義務化に関するレクチャーや、紀要論文・博士論文・雑誌発表論文をリポジトリに登録するためのJAIRO Cloud 操作デモ、グループワーク等を行った。最後に、群馬大学から、群馬大と茨城大で共同開発中の「OA サポートシステム」の概要を紹介した。受講者は、学术论文の公開義務に関する知識やリポジトリ登録の実践的な作業内容について体系的に学習し、実務担当者同士の交流を深めた。



【講師:野中氏、安達氏、南雲氏、
藤原氏、大石氏、嶋田氏、田中氏】

【会場:群馬大学】

【参加者の意見等】

- 講師の皆様が丁寧かつ親切に事例を紹介してくださったため、非常に勉強になった。
- 難しい内容もあったが、終始和やかな楽しい雰囲気で、一日あっという間だった。
- JAIRO Cloud や付随する業務についてなんとなく苦手意識があったが、大幅に意識を変えることができた。座学及びデモ、グループワークの全てが非常に有意義だった。
- 研修の内容を理解できるのか、皆さんの足を引っ張ることがないかと心配になりながら参加したが、他大学でも本学と似た状況であることを知ることで、また、本学より数歩先を歩かれ

ている他大学の情報を教えていただくなど、非常に有意義な研修だった。

- グループワークで悩みなどを共有することができ、自館だけの不安だと思っていたことがそうではないと知れただけでも大変ありがたかった。
- 著作権ポリシー確認の仕方では、実習で自ら手順を確認していく中で、つまずいたり手間取ったりしたことで、実習後の解説でより理解が深まった。
- 今後、担当者の代替わりで引継ぎが上手くいかないケースとかもあると思われるので、さらに初心者用の入門編があると良い。

令和7年度活動報告 群馬県高等学校教育研究会図書館部会

I 大会、研修会等

1 総会 5月 1日 (木) 総合教育センター

- (1) 令和6年度事業報告、会計決算報告、会計監査報告
令和7年度役員及び幹事紹介
令和7年度事業計画案、予算案審議



(2) 地区研修会

2 司書研修会

(1) 第1回司書研修会 7月 9日 (水) 総合教育センター

(2) 第2回司書研修会 10月27日 (月) 土屋文明記念文学館

第1回、第2回とも7つの分科会に分かれて研修を行った。

- ①パスマインダー ②学校司書の役割 ③基本調査 ④広報
⑤ICT ⑥選書 ⑦探究学習

3 冬季研究大会 2月12日 (木) 総合教育センター

(1) 読書感想文コンクール・読書感想画コンクール表彰式及び講評

(2) 研究発表

高崎地区

東京農業大学第二高等学校 司書 清水 真理子

「東京農業大学第二高等学校図書館 2021年度～2025年度」

伊勢崎・佐波地区

伊勢崎興陽高等学校 司書 星野 あすか

「伊勢崎・佐波地区と伊勢崎興陽高校の取り組み

～ブックリストの作成とNIEの活動～」



II 各種事業

1 第71回青少年読書感想文全国コンクール群馬県内審査

作品提出締切日 9月26日 (金) 参加校 48校 5,154編応募

最終審査日 11月19日 (水) 館林女子高等学校

最優秀賞 2編 (自由読書の部1編、課題読書の部1編) は中央審査会へ出品

2 第37回読書感想画中央コンクール群馬県内審査

作品提出締切日 1月13日 (火) 参加校 11校 66点応募

最終審査日 1月15日 (木) 館林女子高等学校

優秀賞 4点 (自由読書の部2点、指定読書の部2点) は中央審査会へ出品

学校賞 4校 (前橋女子高校、前橋東高校、高崎北高校、高崎健康福祉大学高崎高校)

3 部会誌『紀要』令和7年度・第61号発行

3月31日 (火)

令和7年度 群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会 事業報告

- 1 総会 会場：前橋総合教育プラザ
令和7年5月27日（火）
- 2 第38回関東地区学校図書館研究大会（甲府大会） 会場：YCC県民文化ホール 等
令和7年8月7日（木）・8日（金）
 - 各学校での取組報告並びに参加発表（伊勢崎・佐波支部）記録（太田支部）
- 3 第71回青少年読書感想文全国コンクール群馬県審査会
（第1回）令和7年10月14日（火） 会場：各支部
 - 各支部代表作品を事務局へデータ送付（第2回）令和7年11月4日（火） 会場：前橋総合教育プラザ
 - 小学校（低・中・高学年）・中学校の各校種で、自由読書・課題読書の各部より各1点の計8点を県代表作品として全国審査会へ送付【全国コンクール入賞者】
 - ・毎日新聞社賞
小学校高学年の部 自由読書 前橋市立桃瀬小学校 6年 青木 一以さん
 - ・サントリー奨励賞
小学校中学年の部 自由読書 群馬大学共同教育学部附属小学校 4年 寺田 圭吾さん
中学校の部 課題読書 群馬県立中央中等教育学校 3年 上原 小春さん
- 4 第37回読書感想画中央コンクール群馬県審査会 会場：前橋総合教育プラザ
令和8年1月16日（金）
 - 小学校（低・高学年）・中学校の各校種で、自由読書・指定読書の各部より各2点の計12点を県代表作品として中央審査会へ送付【中央コンクール入賞者】
 - ・優秀賞
小学校低学年の部 自由読書 太田市立太田小学校 2年 中野 新太さん
中学校の部 自由読書 高崎市立塚沢中学校 2年 山崎 結葉さん
 - ・佳作
小学校高学年の部 指定読書 渋川市立橘小学校 5年 鈴木 宙青さん
- 5 司書部会研修会 会場：高崎市市民活動センター
令和8年2月26日（木）
 - 学校司書（図書事務・図書指導員・悩み事相談員等）対象の図書館運営に係る講話
- 6 正副支部長会議（書面開催）
令和8年2月27日（金）：資料メール送付
令和8年3月9日（月）：意見集約



令和7年度
群馬県図書館協会会報
NO. 20 (令8. 3. 31)

編集：発行 群馬県図書館協会

事務局 前橋市日吉町1-9-1
群馬県立図書館内

TEL 027 (231) 3336

FAX 027 (235) 4196